

## 本部長指示事項

- 昨日、国の新型コロナウイルス感染症対策本部長は、感染力の極めて強いデルタ株が世界中で猛威を振るい、これまでに経験のない感染拡大が続いているとして、緊急事態宣言措置区域について7府県を追加して千葉県を含む13都府県とした上で、緊急事態措置を実施すべき期間を9月12日（日）まで延長し、基本的対処方針を示した。本市における新規感染者の発表者数も、感染拡大状況に歯止めがかからない状況となっている。
- 本市において、昨日（8月17日）現在、患者数は2,700名、うち自宅療養者は2,474名となっている。その中には少し前であれば入院療養するような病状の方でも、感染の急拡大によって、入院ができずに自宅療養を余儀なくされている方も含まれている。
- また、全国の感染拡大地域で起き始めているような、症状が悪化した場合の入院調整が進まず、数十件断られ、受け入れ先が見つからず救急車の中で長時間待機していただくケースが千葉市でも出てきており、医療提供体制は危機的な状況である。
- 既に確保済みの7,000台弱のパルスオキシメーターの有効活用を図る等、自宅療養者の健康状態の把握に努めることに加え、既に関係者と検討を進めている、症状悪化時の電話診療や投薬等が実施できる体制の確保、あらたな宿泊療養施設の設置に向けた検討や、救急搬送の難しい状況にあっても宿泊療養施設が活用できるような検討等自宅療養者への適切な支援体制の強化を進めて欲しい。
- 今回、国の基本的対処方針では、デパ地下等における入場者の整理等が追加された。混雑した場所等への外出の半減を生活のシーンに応じた具体的な対応例を用いながら市民に呼び掛ける等、引き続き人流の抑制に向けた対応をお願いします。
- 各担当部署においては、それぞれ適切な対応をお願いします。
- ・市施設については、引き続き、20時以降の利用を停止することとする。各施設の感染防止対策と利用者への呼びかけを徹底してほしい。
  - ・緊急事態宣言が延長され、先行きが見えないことに対する不安感が高まる中、市内中小企業にとっては厳しい経営環境が継続することになる。これまでも、国の支援策や県の協力金等に加えて市の経済対策について周知を図っているところであるが、引き続き、市内中小企業に各種支援策の積極的な利用を促すこと。あわせて国や県の動向を注視し、市支援金の延長など追加的な支援策の検討を進めるとともに、引き続き迅速な支給に努めていくこと。
  - ・保育園・認定こども園等については、感染拡大防止を徹底した上で、原則開所としているが、更なる感染拡大防止のため、可能な範囲で、児童の登園を控えるよう保護者の皆様に要請すること等を検討して欲しい。
  - ・教育環境においては、校外活動や部活動などの教育活動に関して、国・県の動向のほか、感染状況を注視しながら、引き続き十分な感染症対策を講じたうえで、活動が継続できるよう、創意工夫しながら実

施することを検討してほしい。特に部活動については、これまでも対外的な練習試合を大会直前まで行わないことや、活動時間を日に90分とする等、既に県の基準に比べ厳しい基準を設定しているが、感染防止対策を一層講ずるとともに、全体の活動量についても検討して欲しい。

- ・パラリンピック競技大会観戦については、大会組織委員会等による協議により学校連携観戦プログラムのみ観戦が認められたことを受け、本市において観戦を実施することとした。大会組織委員会に対し、十分な感染防止対策を要請しているところであり、保護者と約束している、これらの対策が講じられることを確認した上で、今一度、参加者、引率者、組織委員会等それぞれにおいて感染防止対策が十分に行われることを要請する等速やかに準備を進めて欲しい。

○ワクチン接種については、一昨日（8月16日）時点で、国のワクチン接種記録システム（VRS）に登録された数値によると、本市の高齢者の方の1回目の接種率は、87.70%、2回目の接種率は、83.93%であり、高齢者の方の7割接種の目標を大きく上回る状況となっている。また、医療従事者等を含む全年代の1回目の接種率は、40.96%、2回目の接種率は、33.02%となっている。改めて、千葉県医師会をはじめ、ワクチン接種に関わる全ての皆様に感謝を申し上げる。

○ワクチンの供給見通しについては、10月4日の週までに、12歳以上人口の8割が2回接種できる量を各都道府県に配分するという国の方針に基づき、本市には、8月30日の週から1週間あたりに換算して約5万回分が配分されることになった。先日、この供給量を踏まえた今後の接種計画について公表したところであり、供給量と配送時期に応じた接種機会を医療機関の協力をいただきながら創設していく。担当部署においては、引き続き、働く世代が接種を受けやすい時間帯での接種枠の創設などを進めるとともに、予約のできる医療機関をコールセンターで案内する、WEB上で明示する等予約の取りやすい環境を確保し、市民の不安感を取り除けるよう分かりやすい情報提供に努めてほしい。

○以前も申し上げたが、ワクチン接種が自らを守るだけでなく、周囲の家族、友人、同僚や、接種対象ではない子どもたちを守ることにつながる。市民の皆様には、ワクチンの有効性や安全性などについて、信頼のおける正しい情報をもとに理解を深めていただき、接種についてご自身で判断していただくことになる。私としては積極的にワクチン接種を受けていただきたいと考えている。

○マスク、手洗い・消毒、密の回避など、いかにそれを徹底するか、お一人おひとりの心構えが必要です。改めて感染防止策を徹底し、ご自身や大切な人をこの災害から守っていただきたい。